



CHAPTER 7

Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの管理

ディレクトリハンドラは、企業ディレクトリへのアクセスを提供します。発信者はこれを使用して、メールボックスを持つ Cisco Unity Connection ユーザに電話をかけることができます。発信側がユーザ名または名前の一部を検索すると、ディレクトリハンドラが内線番号を調べ、該当するユーザにコールをルーティングします。

各ディレクトリハンドラには、名前の検索方法、1つ以上の一致が見つかった場合の処理、および発信者入力が検出されなかった場合の処理を指定する設定が含まれています。

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.x のデフォルトディレクトリハンドラの概要」(P.7-1)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの作成」(P.7-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの変更」(P.7-3)
- 「Cisco Unity Connection 8.x の電話言語設定の変更」(P.7-4)
- 「Cisco Unity Connection 8.x の音声ディレクトリハンドラへのコールルーティング」(P.7-5)
- 「Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの削除」(P.7-5)

Cisco Unity Connection 8.x のデフォルトディレクトリハンドラの概要

Cisco Unity Connection は、システムディレクトリハンドラというデフォルトディレクトリハンドラを持っています。このディレクトリハンドラは修正可能ですが削除はできません。デフォルトでは、このディレクトリハンドラはシステム上にメールボックスを持つすべてのユーザを、姓、名の順で検索するように設定されています。発信者は電話のキーパッドを使用して、デフォルトのシステムディレクトリハンドラを操作します。デフォルトの音声対応ディレクトリハンドラはありません（ディレクトリハンドラのタイプの詳細については、「Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラ」(P.4-2) を参照してください）。

デフォルト設定では、ガイダンスコールハンドラのグリーティングを再生している間に発信者が 4 を押すと、デフォルトディレクトリハンドラがアクセスされます。

Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの作成

ロケーションやサーチスペースなど、使用可能なフィルタを使用して、コールをユーザに転送するためのディレクトリハンドラを必要な数だけ作成できます。電話キypadと音声対応ディレクトリハンドラの両方を同じシステム上に作成し、ユーザを複数のディレクトリハンドラに登録することができます。

音声対応ディレクトリハンドラを作成するには、音声認識オプションが必要です。

ディレクトリハンドラにはグリーティングがないため、コールハンドラまたはワンタッチダイヤルを使用して発信者をディレクトリハンドラにルーティングし、コールハンドラのグリーティングを使用して、各ディレクトリハンドラの発信者オプションをガイドすることを推奨します。

複数のディレクトリハンドラを作成すると、システムに対する効率的で安全なディレクトリ検索を数百または数千におよぶユーザに提供できます。複数のディレクトリハンドラは、Cisco Unity Connection が集中呼処理を提供する本社と支社の配置におけるコールルーティングにも使用できます。ユーザは複数のディレクトリハンドラにリストされます。管理者は、ユーザ用の発信者の検索を管理するために必要なだけのディレクトリハンドラを作成できます。

ディレクトリハンドラを作成するには

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開して [ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)] を選択します。
 - ステップ 2** [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで [新規追加 (Add New)] を選択します。
 - ステップ 3** [ディレクトリハンドラの新規作成 (New Directory Handler)] ページで、ディレクトリハンドラの表示名を入力します。ディレクトリハンドラの内線番号を入力することもできます。



(注) * (アスタリスク) マークの付いたフィールドは必須です。

- ステップ 4** 音声対応のディレクトリハンドラを作成するには、[音声を有効にする (Voice Enabled)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
 - ステップ 6** [ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、ディレクトリハンドラの設定の入力を続けます (フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。
 - ステップ 7** [ディレクトリハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページの設定の入力が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。
 - ステップ 8** [編集 (Edit)] メニューで [発信者入力 (Caller Input)] を選択して、必要な設定を新しいディレクトリハンドラに追加します。
 - ステップ 9** [発信者入力 (Caller Input)] ページでいずれかの設定を変更した場合は、ページを終了する前に [保存 (Save)] を選択してください。
-

Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリ ハンドラの変更

次の、該当する手順に従ってください。

- 「ディレクトリ ハンドラを変更するには」 (P.7-3)
- 「一括編集モードでのディレクトリ ハンドラ設定の変更方法」 (P.7-3)

ディレクトリ ハンドラを変更するには

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開して [ディレクトリ ハンドラ (Directory Handlers)] を選択します。

ステップ 2 [ディレクトリ ハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、修正するディレクトリ ハンドラの表示名を選択します。



(注) 変更するディレクトリ ハンドラが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

ステップ 3 [ディレクトリ ハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、設定を変更します (フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。

ステップ 4 [ディレクトリ ハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページの設定の変更が終了したら、[保存 (Save)] を選択します。

ステップ 5 [発信者入力 (Caller Input)] ページで設定を変更するには、[編集 (Edit)] メニューで [発信者入力 (Caller Input)] を選択します。

ステップ 6 [発信者入力 (Caller Input)] ページでいずれかの設定を変更した場合は、ページを終了する前に [保存 (Save)] を選択してください。

一括編集モードでのディレクトリ ハンドラ設定の変更方法

ステップ 1 [ディレクトリ ハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、該当するディレクトリ ハンドラのチェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

一括編集するディレクトリ ハンドラが、1 つの [検索 (Search)] ページに一部しか表示されない場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにし、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにするという操作を、該当するすべてのディレクトリ ハンドラを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

ステップ 2 設定に変更を加えるには、フィールド名の左にあるチェックボックスをオンにして選択してから、通常どおりフィールドを設定します。[ヘルプ (Help)] > [このページ (This Page)] を選択して、各設定の説明を確認します。

(注) [ディレクトリ ハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページの上部にある [ステータス (Status)] メッセージには、編集モード中のディレクトリ ハンドラの数が表示されます。また、このページには一括モードで編集可能なフィールドだけが表示されています。

ステップ 3 必要に応じて、一括編集タスク スケジュール フィールドを設定して、後日または後で実行する一括編集処理のスケジュールを作成します。

ステップ 4 [送信 (Submit)] を選択します。

Cisco Unity Connection 8.x の電話言語設定の変更

各電話ディレクトリハンドラに対して、前のコールハンドラから適合される言語と、ルーティングルールから適用される言語のどちらを使用するかを指定できます。

次の、該当する手順に従ってください。

- 「ディレクトリハンドラの電話言語設定の変更方法」(P.7-4)
- 「一括編集モードによる複数のディレクトリハンドラの電話言語設定の変更方法」(P.7-4)

ディレクトリハンドラの電話言語設定の変更方法

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開して [ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)] を選択します。

ステップ 2 [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、ディレクトリハンドラの表示名を選択します。



(注) ディレクトリハンドラが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

ステップ 3 [ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、[システムのデフォルト言語を使用 (Use System Default Language)] または [発信者から言語を継承する (Inherit Language from Caller)] を選択するか、リストから言語を 1 つ選択します。

ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。

一括編集モードによる複数のディレクトリハンドラの電話言語設定の変更方法

ステップ 1 [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、該当するディレクトリハンドラのチェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

一括編集するディレクトリハンドラが、1 つの [検索 (Search)] ページに一部しか表示されない場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにし、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにするという操作を、該当するすべてのディレクトリハンドラを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

ステップ 2 [ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、[言語 (Language)] チェックボックスをオンにして選択し、[システムのデフォルト言語を使用 (Use System Default Language)] または [発信者から言語を継承する (Inherit Language from Caller)] を選択するか、リストから言語を 1 つ選択します。

ステップ 3 必要に応じて、一括編集タスクスケジュールフィールドを設定して、後日または後で実行する一括編集処理のスケジュールを作成します。

ステップ 4 [送信 (Submit)] を選択します。

Cisco Unity Connection 8.x の音声ディレクトリハンドラへのコールルーティング

ディレクトリハンドラにはグリーティングがないため、コールハンドラまたはワンタッチダイヤルを使用して発信者をディレクトリハンドラにルーティングし、コールハンドラのグリーティングを使用して、各ディレクトリハンドラの発信者オプションをガイドすることを推奨します。

音声ディレクトリハンドラを設定する場合は、Cisco Unified CM から Cisco Unity Connection の音声ディレクトリに電話番号をルーティングするように Cisco Unified Communications Manager を設定する方法について、次のタスクリストを参照してください。

音声ディレクトリハンドラにコールをルーティングするためのタスクリスト

1. Cisco Unified CM Administration で、音声タイプのディレクトリハンドラに使用するポートを、新しい回線グループに追加します。
2. 回線グループを新しいハントリストに追加します。
3. そのハントリストを、音声タイプのディレクトリハンドラへのコールのルーティング先となる新しいハントパイロットに追加します。
4. Cisco Unity Connection Administration で、音声タイプのディレクトリハンドラにコールをルーティングするように、ポートを設定します。

Cisco Unified CM の設定方法の詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html で Cisco Unified CM のドキュメントを参照してください。

Cisco Unity Connection 8.x のディレクトリハンドラの削除

ディレクトリハンドラが Connection の別のオブジェクトから参照されている場合（そのディレクトリハンドラにコールをルーティングするようにルーティングルールまたはシステムコールハンドラが設定されているなど）、別のオブジェクトの設定を変更して削除するディレクトリハンドラへの参照を削除するまで、ディレクトリハンドラの削除が許可されません。ディレクトリハンドラを参照するオブジェクトの設定を変更せずにディレクトリハンドラを削除しようとすると、削除操作が失敗します。

1 つ以上のコールハンドラから参照されているディレクトリハンドラを削除する場合は、入力オプションに関する適切な情報が再生されるように、コールハンドラグリーティングを録音し直してください。

ディレクトリハンドラを削除するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[コール管理 (Call Management)] を展開して [ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)] を選択します。
- ステップ 2** [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、削除するディレクトリハンドラの表示名の横にあるチェックボックスをオンにします。



(注) 削除するディレクトリハンドラが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドで適切なパラメータを設定し、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** [依存関係の表示 (Show Dependencies)] を選択して、削除するディレクトリハンドラに依存するデータベースオブジェクトを検索します。
- ステップ 4** 依存関係の検索結果から、影響を受けるオブジェクトのリンクをたどって、依存関係を別のディレクトリハンドラに再割り当てします。
- ステップ 5** [ツール (Tools)] > [依存関係結果の表示 (Show Dependency Results)] を選択します。
- ステップ 6** [依存関係結果の表示 (Show Dependency Results)] ページで、[前回の結果を表示 (Display Previous Results)] を選択します。
- ステップ 7** すべての依存関係が再割り当てされるまで、[ステップ 4](#) から [ステップ 6](#) を繰り返します。
- ステップ 8** [コール管理 (Call Management)] > [ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)] を選択します。
- ステップ 9** [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、削除するディレクトリハンドラの表示名の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 10** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。



(注) 検索ページから間違ったディレクトリハンドラを削除することが心配な場合は、表示名を選択して、[ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページに移動します。このページのデータを使用して、削除するディレクトリハンドラを確認できます。

- ステップ 11** 削除の確認を求めるダイアログボックスで、[OK] を選択します。